

不登校児童生徒への支援の充実 ～大牟田市版COCOLOプランの取組を通して～

大牟田市総合教育会議
令和6年10月7日(金)
於：大牟田市役所

本日の発表内容

人が育ち、人でのびにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



- 1 大牟田市学校教育振興プラン
- 2 不登校児童生徒の現状
- 3 大牟田市における不登校対策
 - (1) ハートフルスクールプロジェクト
 - (2) スクールソーシャルワーカーの配置
 - (3) 学びの多様化学校
- 4 取組の成果と課題



大牟田市公式キャラクター
「ジャール坊」

本日の発表内容

人が育ち、人でのびにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



- 1 大牟田市学校教育振興プラン
- 2 不登校児童生徒の現状
- 3 大牟田市における不登校対策
 - (1) ハートフルスクールプロジェクト
 - (2) スクールソーシャルワーカーの配置
 - (3) 学びの多様化学校
- 4 取組の成果と課題



大牟田市公式キャラクター
「ジャール坊」



基本理念

「まちづくりは人づくりから」という基本的な考え方に立ち、本市の学校教育は、持続可能な社会の創り手となる児童生徒の育成をめざすとともに、日本社会に根差したウェルビーイングの向上を図ります。



本日の発表内容

人が育ち、人でのびいき、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



- 1 大牟田市学校教育振興プラン
- 2 不登校児童生徒の現状
- 3 大牟田市における不登校対策
 - (1) ハートフルスクールプロジェクト
 - (2) スクールソーシャルワーカーの配置
 - (3) 学びの多様化学校
- 4 取組の成果と課題



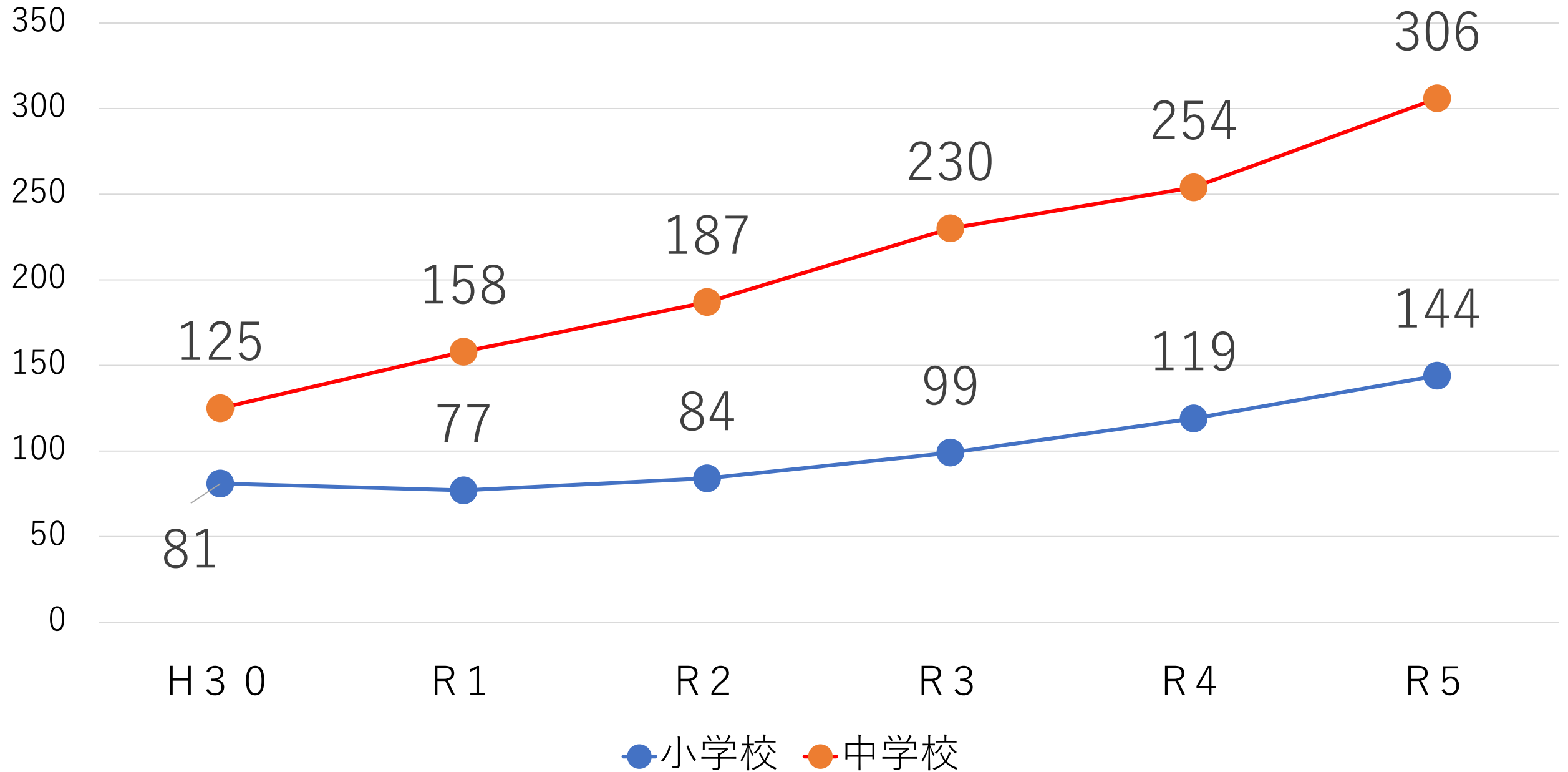
大牟田市公式キャラクター
「ジャーク」

不登校とは…

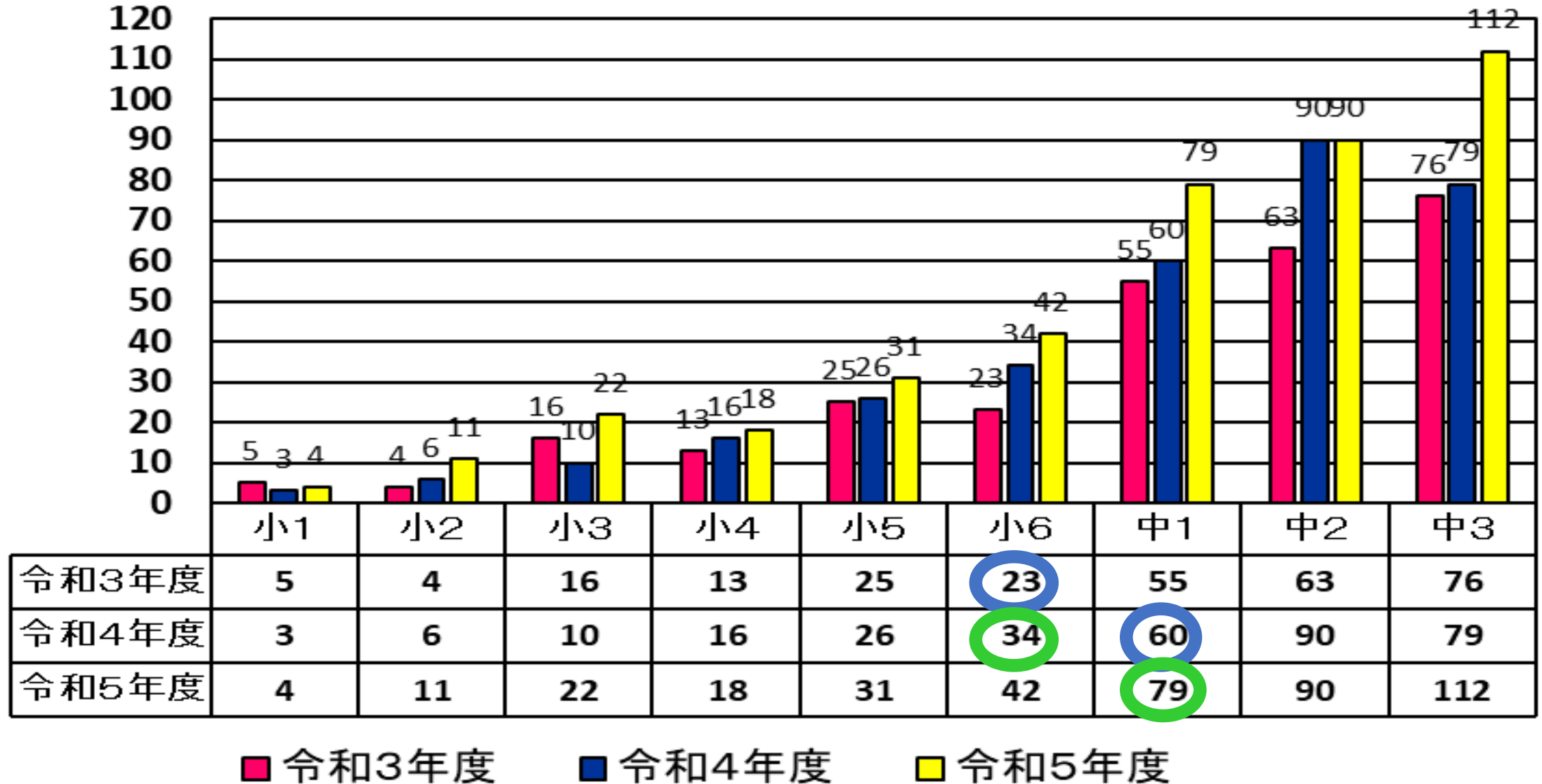
「何らかの心理的、情緒的、身体的、あるいは社会的要因・背景により、登校しない、あるいはしたくともできない状況にあるため年間30日以上欠席した者のうち、病気や経済的理由による者を除いたもの。

文部科学省「生徒指導提要（改訂版）」より

年度別不登校児童生徒数の推移



同一集団の不登校数の推移



不登校の主たる要因

小学生

- 1位 無気力・不安
- 2位 親子関係
- 3位 生活リズム
遊び・非行



中学生

- 1位 無気力・不安
- 2位 生活リズム
遊び・非行
- 3位 親子関係



※無気力の潜在的要素…授業が分からない、特別支援にかかわること

本日の発表内容

人が育ち、人でのびにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



- 1 大牟田市学校教育振興プラン
- 2 不登校児童生徒の現状
- 3 大牟田市における不登校対策
 - (1) ハートフルスクールプロジェクト
 - (2) スクールソーシャルワーカーの配置
 - (3) 学びの多様化学校
- 4 取組の成果と課題



大牟田市公式キャラクター
「ジャー坊」



- 1 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えます。
- 2 心の小さなSOSを見逃さない「チーム学校」づくりを支援します。
- 3 学校の風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にし、不登校をうまない学校づくりを進めます。
- 4 児童生徒当事者や保護者に寄り添った不登校対応を行います。
- 5 「魅力ある学校づくり」をめざして、学校だけではなく、地域も不登校児童生徒を見守る体制をつくります！
- 6 教育委員会がハブとなり、関係部局との情報連携、行動連携を進めます。



不登校対策の3本柱

人が育ち、人々にぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



ハートフル
スクール
プロジェクト

スクール
ソーシャルワーカー
の配置

学びの
多様化学校

これから



小中学校合同の運動会

今後の 方向性

大牟田市における不登校対策





本人要因

学校要因

家庭的要因

多様化・複雑化
した要因

カスタマイズして
個別に対応





学力の保障

社会的自立



学びたいと思ったときに
多様な学びにつなげる



個々のニーズに応じた
受け皿を整備

教育機会確保法の
趣旨とも合致

社会総がかりで不登校児童生徒を支援する
システムを構築



「ハートフルスクールプロジェクト」連携図

要因

本人要因
不安・発達障害等

学校要因
学習・対人関係等

家庭要因
虐待・ネグレクト等

心理的な対応

SC配置拡充

本人

学校

本人

福祉的な対応

SSW

連携

支援の広がり

教育委員会・行政

教育支援センター
教育相談室 昭和教室

関係機関・専門家等

教育相談機関 フリースクール
医療機関

教育委員会・行政

保健福祉部
市民協働部

関係機関・専門家等

児童相談所
SSWSV・大学教授

民間施設・NPOなどの団体

家庭



各保護者・

保護者の会

民生委員・児童委員

校内教育支援センター
(ハートフルルーム)

サテライトスペース
(地区公民館)

ケース会議





1 不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整えます！

- 一人一人のニーズに応じた多様な学びの場の確保
【校内教育支援センター】（ハートフルルーム）
- ・自分に合ったペースで学習や生活ができる環境
 - ・オンライン指導やテスト等も受けられ、結果が成績に反映
 - ・不登校児童生徒の対応や教職員などとの連携を担う「学習指導員」を配置
 - ・家庭や地域との連携を促進するために、各中学校区に公用車を1台配置。



大牟田市教育支援センター 「昭和教室」

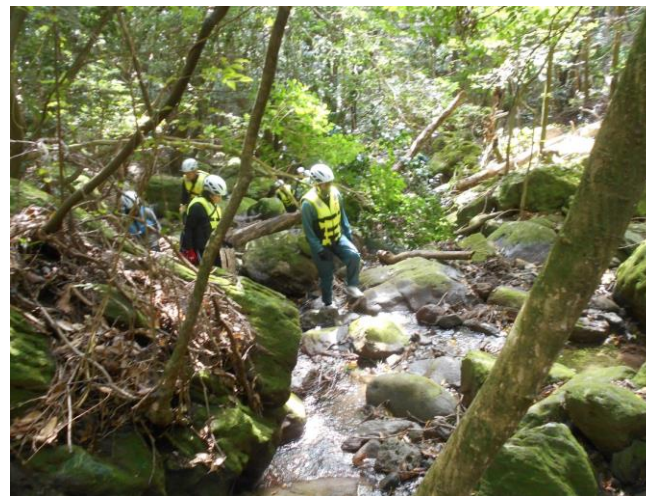
学校に行きたくても行けないで
悩んでいる子どもたちの成長を見
守り、学校復帰のための援助を行
う大牟田市教育委員会の機関です。

○ 学習活動



○ 宿泊野外体験学習～国立諫早青少年自然の家～

○ 給食の時間



サテライトスペース【市民協働部連携】

「様々な理由で、学校に行くことが難しい児童生徒が、自分の行けるときに出向き、状態や状況に応じて社会との繋がりを持ち、経験や繋がりを通して気づきや動機を促すことができる居場所

市内に7館ある地区公民館を活用。学校以外の居場所を提供（必要に応じて開設）
原則として、校区内のSSWが、業務として担当



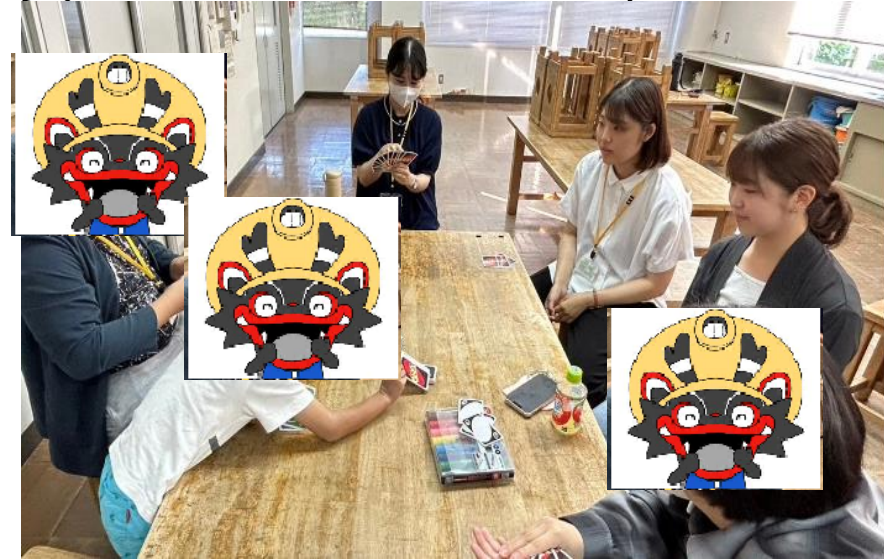
【市民協働部連携】

教育委員会の担当者が、市民協働部の公民館職員にレクチャー。また、不登校にかかわる市民を育成するためのサポーター養成を市民協働部が担っている。大学教授や県SSWSV、養護施設職員などが講師を担当している。

ぱすてる【民間連携】

サテライトスペースのうち、毎週月曜日14:00~18:00に開設される居場所。民間と連携しながら、運営している。大牟田中央公民館内に設置

市内のSSWが、業務として担当（右の写真 3人の女性がSSW）



フリースクール「ソフィア」との連携

法人が運営するフリースクールとの連携を行っている。毎月、市教委担当者と学校、フリースクールの三者で、綿密な連携を行っている。

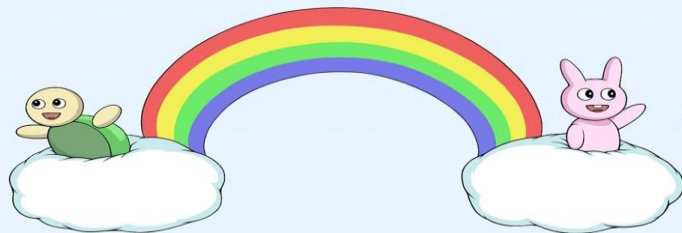
オンライン学習、タブレットドリル導入

家庭でも学習を進め、学習の保障を行うために、授業動画の配信やポケットWIFI貸し出し、全員のタブレット端末にドリルを導入。（国・数・英・理）

ほっとスペースふきのとう【民間連携】

毎週火・水・金曜日 13:00～17:00に開設される居場所。大牟田市社会福祉協議会生活支援相談室が連携して取り組んでいる。

ほっと
スペース



ふきのとう



ひきこもり支援NW運営

不登校やひきこもりの状態にある方が、安心して自分らしく過ごせる場。その家族の皆さんが、肩の力を抜きに来れる場をめざして開設。

開所日であれば、いつ来てもいつ帰ってもよい場所。畳敷きのスペースや個室も完備されている。

大牟田市における不登校対策



2 心の小さなSOSを見逃さない「チーム学校」づくりを支援します！

- (1) **スクールカウンセラーの増員**
市費による配置
- (2) **スクールソーシャルワーカーの増員**
 - ① **各中学校区に1人の配置**
 - ② **特別支援学校、学びの多様化学校への配置**
- (3) **健康観察アプリの活用**



- ・ 1人1台端末で小さな声が可視化され、心の不安や生活リズムの乱れに教師が確実に気付くことができます。
- ・ 小さなSOSに「チーム学校」で素早く支援→早期に最適な支援につなげられる。





3 学校風土の「見える化」を通して、学校を「みんなが安心して学べる」場所にし、不登校をうまない学校づくりを進めます！

- (1) 学校評価を活用し児童生徒の授業への満足度や教職員への信頼感、学校生活への安心感等の学校の風土や雰囲気を把握し、学校運営を改善
- (2) 国立教育政策研究所調査研究事業によって松原中学校区が示した研究成果や福岡県教育委員会の調査研究事業として、橘中学校区が進めている研究成果を整理し、各学校へ提示
- (3) 非認知能力の育成
- (4) 授業改善、学力向上の取組





4 児童生徒当事者や保護者に寄り添った不登校対応を行います！

(1) 訪問指導員

- ①保護者との相談
- ②不登校児童生徒への働きかけ

(2) 教育相談員

- ①不登校の児童生徒への支援
- ②不登校児童生徒の保護者が必要とする情報を提供
- ③不登校児童生徒が、様々な学びの場や居場所につなげる機能

(3) 特別支援教育巡回指導員・通級指導巡回指導員の配置

(4) 保護者の会

(5) 社団法人「OMUTA BRIDGE」との連携





4 児童生徒当事者や保護者に寄り添った不登校対応を行います！

- (5) **子ども支援ネットワーク** 【保健福祉部連携】
 - ・ 代表者会議、実務者会議、個別ケース検討会議
- (6) **民生委員・児童委員協議会との連携** 【保健福祉部連携】
 - ・ 各学校との情報連携・行動連携
- (7) 子ども支援サポーターの養成 【市民協働部連携】
- (8) 子ども家庭支援センター「あまぎやま」、ひきこもり支援ネットワーク、ほっとスペース「ふきのとう」等との連携 【民間連携】
- (9) 大牟田市小・中・特別支援学校PTA連合会との連携
- (10) フォローアップの実施
 - ・ 生徒指導アドバイザーによる指導・助言
- (11) **「子ども・子育て応援条例」**の趣旨をふまえた対応



5 「魅力ある学校づくり」をめざして、学校だけではなく、地域も不登校児童生徒を見守ります！

- (1) 各校区の地域教育力向上推進協議会、まちづくり協議会
- (2) 地域学校協働活動の推進
→ **地域学校協働活動推進員の配置**
- (3) ハートフルルーム (前掲)
- (4) サテライトスペース (前掲)
- (5) 民生委員・児童委員協議会 (前掲)



小中一貫教育の推進



宮原中学校区において実施されている小中一貫教育の全体像

共通学校教育目標「志を持ち、自ら考え行動できる児童生徒の育成」

小中一貫教育の実施内容

授業参観の交流



【学びをつなぐ】

- 9年間を見通した系統性・連続性のある教育課程
- 学習内容・指導方法の共通理解
- 家庭学習の習慣化
- 学習や生活の手引き等の作成 等

ようこそ！先輩



【教職員をつなぐ】

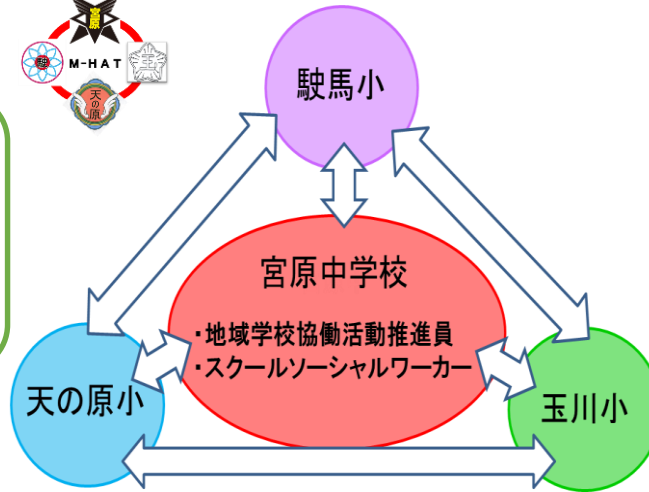
- めざす子供像の共有
- 児童生徒理解に向けた情報共有
- 相互乗り入れ授業の実施
- 合同研修会 等
(学習指導、生徒指導、道徳・特活)



子ども放課後塾

※M(宮原中学校)－H(駿馬小学校)
A(天の原小学校)
T(玉川小学校)

(M-HAT研修会)



【子供たちをつなぐ】

- 交流行事の実施
(遠足、体育会、音楽発表会、学習発表会等)
- 部活動等でのスポーツ交流
- 異学年交流による心の成長
- 児童会生徒会の交流 等



地域合同ク
リーンアップ
活動



中学校体育祭参加
(小学6年生)

【学校と家庭・地域をつなぐ】

- 学校運営協議会 (コミュニティ・スクール) の設置
- 専任の地域学校協働活動推進員の配置
- 専任のSSWによる児童生徒・家庭への支援
- P T Aの連携、地域行事への参加
- 地域ボランティアの活用
- 小中一貫教育の情報発信 (学校便り等) 等



6 教育委員会がハブとなり、関係部局との情報連携、行動連携を進めます！

- ① 市内不登校対策会議
- ② 子ども支援ネットワーク会議
- ③ ひきこもり支援ネットワーク会議
- ④ 大牟田地域教育力向上推進協議会
- ⑤ 大牟田市子ども・子育て委員会
- ⑥ OMUTA少年よくし隊連絡会議
- ⑦ 大牟田市権利擁護連絡会
- ⑧ 大牟田児童相談所管内行政連絡会議
- ⑨ 大牟田市人権・同和教育研究協議会
- ⑩ 子どもの貧困対策に係る市内課長会議

- ⑪ 早期教育連絡協議会
- ⑫ いじめ防止対策本部
- ⑬ 若鳩会
- ⑭ 補導主事会



機関等

構成団体・会議等

主な役割

教育委員会・行政



- ・教育委員会事務局
- ・市内不登校対策会議

- ・不登校対策の方針決定
- ・関係機関等との連絡調整
- ・学校への指導・助言

地域



- ・大牟田地域教育力向上推進協議会
- ・まちづくり協議会
- ・学校運営協議会 など

- ・魅力ある学校づくりへの支援、周知、啓発
- ・不登校対策への支援

民間



- ・フリースクール
- ・社団法人
- ・社会福祉協議会 など

- ・子どもの居場所の運営
- ・児童生徒や保護者支援
- ・各地域との連携

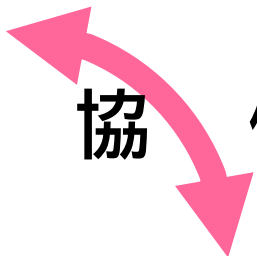
大牟田市における不登校対策



教育委員会・行政



協働



各学校

協働



民間



協働



地域

大牟田市日設立総会



●魅力ある学校づくりへの支援



大牟田市における不登校対策



本日の発表内容

人が育ち、人でのびにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



- 1 大牟田市学校教育振興プラン
- 2 不登校児童生徒の現状
- 3 大牟田市における不登校対策
 - (1) ハートフルスクールプロジェクト
 - (2) スクールソーシャルワーカーの配置
 - (3) 学びの多様化学校
- 4 取組の成果と課題



大牟田市公式キャラクター
「ジャー坊」

スクールソーシャルワーカーの配置

社会の潮流
教育の方向性

各中学校区へのSSW配置
(小中一貫教育の視点)

大牟田市の
状況



令和6年度
市費8名配置

要因・背景

家庭環境の複雑化

友人関係の環境変化

児童生徒自身の心理

協議

各学校の教職員

関係機関

当事者と家族

大牟田市における不登校対策



スクールソーシャルワーカーの配置

主な業務

- ・ 子ども、保護者、学校へのアドボカシー
- ・ 子ども、保護者へのカウンセリング
- ・ 学校と保護者の良好な関係性の促進
- ・ 訪問支援（アウトリーチ）
- ・ 学校～家庭～関係機関～地域の協働支援
- ・ ケースマネジメント
- ・ 学校へのコンサルテーション
- ・ 社会資源の開発 など

配置体制

- ・ 派遣型…相談室
- ・ 配置型…中学校区
- ・ 拠点巡回型

つなぐ
かかわる

期待される効果

教育相談体制の強化
早期発見・早期対応
体制構築

SSWSVによる指導助言・後方支援 研修機会の確保



スクールソーシャルワーカーの配置

STEP1

まずは、「見立てる！」→アセスメント
子どもの置かれている環境背景を全体的に
理解する。フェイスシートの活用

STEP 2

要因と背景の探求と適切な目標設定
介入方法等の援助計画を作成→情報収集へ

STEP 3

子ども自身が、自分の問題についての洞察
を深め、新たな気づきを得ながら問題への
対処能力や解決能力を高めるための関わり

大牟田市における不登校対策

フェイスシート ※該当する項目に○をつける・カッコ内には状況を記載する

氏名： _____ 学年とクラス： _____ 担任： _____ 記入日： _____ 記入者： _____

気になる児童・生徒の様子(学校が課題と捉えていること)

不登校傾向・不登校・いじめ・非行・児童虐待・貧困・家庭環境・心身の健康状況・発達障害・その他()

本人のこと

□登校状況 良好・休みがち・遅刻が多い・不登校
別室登校(保健室・その他)
その他()

□授業中の様子 できている：○ 気になる：△
発表する・姿勢を保持できる・私語が多い・手遊びをする
態度がある・机を汚せる・注意散漫・その他()

□学習理解：全体で理解・個別で理解・その他()

得意な教科： _____ 苦手な教科： _____

□コミュニケーション：できている：○ 気になる：△
話す・見る・聴く・書く・描く・その他()

□提出物(課題など) 出る・出ない・その他()

□行動面に気になること

不注意・多動性・衝動性・対人関係・威嚇
社会性・想像性・その他()

□衛生面 気になる・気にならない

□給食の様子 よく食べる・あまり食べない・偏食

□休日の過ごし方 ひとりで過ごす・家族と過ごす・友人と過ごす

□心のエネルギー

具体的な様子()

家のこと

□家族の構成(同じ世帯には○、別世帯には△)

母()・父()・祖父()・祖母()

兄()・姉()・妹()・弟()

母方祖父()・母方祖母()・父方祖父()・父方祖母()

その他()

□ペット()

□家族の就労：母・父・兄・姉・祖母・祖父・その他()

□経済的なサポート

なし・あり：生活保護・就学援助・その他()

□保護者の相談力 あり・なし

□本人と保護者の関係

良好・過干渉・依存的・支配的・その他()

□本人と保護者以外の家族との関係(対象者)

良好・過干渉・依存的・支配的・その他()

□虐待の疑い 身体・性・心理・ネグレクト

□保護者が現状をどのように捉えているか

()

□保護者の意向

()

本人の思い・考え

【本人が今の状況をどのように捉えているか・どんな変化を期待しているか】

本人のストレングス【本人の好きなこと・得意なこと・自信をもって取り組めること】



学校・地域・関係機関のこと

□学校で本人と関係のある教職員

担任・学年の先生・支援員・養護教諭・補導・生徒指導

図書司書・教務主任・教頭・校長・SC・その他()

□学校行事への参加

本人 参加・不参加・その他()

保護者 参加・不参加・その他()

□学校と保護者の関係性 良好・希薄・対立・その他()

□休み時間の過ごし方

友達と過ごす・ひとりで過ごす・その他()

□友達との関係性

良好 普通 希薄 暴力的 その他()

□学校が現在行っている取り組み

()

□学校が本人の強みと考えているところ

(本人のこんなところがスゴイと感じているところ)

()

□学校・地域での所属

部活() 部・クラスのグループ・生徒会・委員会

ならいごと()・その他()

□開わりのある関係機関等

児童家庭相談室・子ども支援ネットワーク・障害福祉課

保護課・警察少年課・児童相談所

子ども家庭支援センター

相談支援事業所()

放課後等デイサービス()

医療機関()

学童保育・民生委員・主任児童委員・その他()

□本人・家庭と地域の関わり あり・なし

()

□地域が本人・家庭をどのように捉えているか

()

()



本日の発表内容

人が育ち、人でのびにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



- 1 大牟田市学校教育振興プラン
- 2 不登校児童生徒の現状
- 3 大牟田市における不登校対策
 - (1) ハートフルスクールプロジェクト
 - (2) スクールソーシャルワーカーの配置
 - (3) 学びの多様化学校
- 4 取組の成果と課題



大牟田市公式キャラクター
「ジャール坊」

学びの多様化学校



大牟田市における不登校対策



《開校までの主な歩み》

年月	内容
令和元年11月	「大牟田市立学校適正規模・適正配置計画 第2期実施計画」策定
令和3年 1月	夜間中学に関する大牟田市教職員研修会
令和3年 9月	夜間中学地域説明会
令和3年10月	夜間中学に関するアンケート調査
令和3年11月	全国夜間中学キャラバンin大牟田
令和5年 2月	夜間中学市民講演会
令和5年 8月	「大牟田市立学校適正規模・適正配置検討委員会」 答申
令和5年10月	「大牟田市立夜間中学設置基本方針」策定
令和5年12月	大牟田市立中学校設置条例(昭和39年条例第20条)の一部改正
	夜間中学入学説明会
令和6年 2月	文部科学省から「学びの多様化学校」の指定
令和6年 3月	夜間中学施設見学
	夜間中学「ほしぞら分校」名称考案の表彰式と校銘板披露
令和6年 4月	大牟田市立宅峰中学校 ほしぞら分校 開校

大牟田市立夜間中学設置基本方針の概要

大牟田市教育委員会

1 大牟田市における夜間中学設置に係る基本方針

＜「誰一人取り残さない」多様な学びの機会を保障する大牟田市の夜間中学＞

(1) 夜間中学とは

義務教育を修了しないまま学齢期を経過した方や、病気や不登校など、様々な事情により十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した方、外国籍の方等を対象に、夜の時間帯等に授業が行われる公立中学校です。

大牟田市の夜間中学では、昼間の中学校で不登校になっている学齢生徒も夜間中学に受け入れます（「学びの多様化学校」指定後）。

(2) 本市が設置する夜間中学の学校づくりの視点

①誰一人取り残さないため一人一人の夢や願いを尊重した学校づくり

ア 共に学び合いながら多様性を尊重し、小学校の学習内容を含めた学び直しを実現します。

イ 基礎・基本を大切にし、実社会で生きる力を育みます。

ウ 体験的な学習を取り入れ、持続可能な社会の創り手となるための社会性を育みます。

エ 進路学習を通して、一人一人の夢や願いの実現をめざして、自分らしい生き方ができるよう支援します。

②生徒の誰もが安心して学びの主役となれる学校の環境整備

ア 少人数指導体制及び学習支援体制の充実

イ 教育相談体制の充実

ウ 生徒が継続して学校生活を送ることのできる環境への配慮

2 大牟田市における夜間中学の枠組み

(1) 学校名 大牟田市立宅峰中学校ほしぞら分校

(2) 入学対象

以下の要件を全て満たす人を入学対象とします。

①学齢期(満15歳に達した日以降の最初の3月31日まで)を過ぎた方
ただし、「学びの多様化学校」指定後は、昼間の中学校に在籍しているが、様々な理由で不登校になっている学齢生徒も対象とします。

②中学校を卒業していない方、または、卒業していても、病気や不登校等

の理由により、十がに子かこしかじさなかつにが(国籍は、日本国籍、外国籍を問わない)

③原則、大牟田市内に在住する方

④その他、学校長が入学を認める方

※今後、福岡県教育委員会等との連携のもと、他市町村からの受け入れについても調整を行います。

(3) 開校時期、入学時期

令和6年4月に開校します。

入学時期は4月を基本とします。生徒の実態に応じて学期途中からの入学も可能とします。

学齢期の生徒は、生徒の実態に応じて、学期途中からの転入学も可能とします（「学びの多様化学校」指定後）。

(4) 設置場所

大牟田市立松原中学校内に併設します。

(5) 進級と修業年数

次年度への進級については、生徒との面談を実施し、学習習熟度等を確認のうえ、生徒本人の意向を踏まえ校長が判断します。

修業年数については、3年を基本とします。3年間では中学校の教育課程を修了することができないことも想定されることから、原則最長6年までの在籍を可能とします。

3 教育課程等

中学校学習指導要領に基づいた教育課程を編成するとともに、キャリア教育、進路指導等を実施します。

(1) 年間の授業時数(通常の中学校の授業時数:約1000時間)

年間総時数を700時間程度とし、学び直しや進学ニーズが多くあることを踏まえ、5教科(国語、社会、数学、理科、英語)を丁寧に行い、総合的な学習や実技系の教科等も授業内容を工夫して行います。

※学齢生徒の年間総時数は、800時間程度(「学びの多様化学校」指定後)

(2) 週の授業時数

夜間中学の生徒は、月曜日から金曜日まで、1校時あたり40分の授業を4校時行い、週あたりの授業時数は20時間とします。

<校時表>

17:30~17:40	ホームルーム
17:40~18:20	1校時
	休憩(5分)
18:25~19:05	2校時
	休憩(20分)
19:25~20:05	3校時
	休憩(5分)
20:10~20:50	4校時
20:50~	ホームルーム・下校

※学齢生徒は、週に2回(火曜日・木曜日)、16時40分から1校時授業を行うため、週あたりの授業時数は22時間とします(「学びの多様化学校」指定後)。

(3) 授業日

三学期制として、夏休み等の長期休業期間は、他の大牟田市立中学校と同じ期間とします。

(4) 学年

原則として入学は1年生からとします。入学者(「学びの多様化学校」指定後の学齢生徒含む)の希望や実態に応じて2年生や3年生からの入学も可能とします。

(5) 学級編制

以下の学級編制を基本とします。入学者(「学びの多様化学校」指定後の学齢生徒含む)の希望や実態、習熟度に応じて柔軟に編制します。

- 1年生：1学級(中学1年の学習内容に加え小学校の学習内容も学ぶ学級)
- 2年生：1学級(中学2年の学習内容を基本に学ぶ学級)
- 3年生：1学級(中学3年の学習内容を基本に学ぶ学級)

4 その他、学校生活等

(1) 通学方法

JR鹿児島本線や西鉄天神大牟田線、西鉄バスの利用を推奨しますが、就業している方等もいることから、徒歩、自転車、バイク、自家用車も可能とします。

※学齢生徒(「学びの多様化学校」指定後)は、自力登校も可能としますが、下校時が21時を過ぎることから保護者等の迎えとします。

(2) 制服等

生徒が成人であったり、就業していたりするなど、生活スタイルも様々であるため、制服、通学靴・靴、体操服等の指定は行いません(「学びの多様化学校」指定後の学齢生徒含む)。

(3) 学校行事

生徒の実態や意向を踏まえながら、工夫して実施していきます。

(4) 費用

授業料は無料とし、教科書についても無償で配布します。学用品や学校行事等にかかる実費については、自己負担とします。

(5) 就学援助

経済的な事情により、就学が困難である生徒等に対しては、就学援助を適用します。

(6) 入学までの流れ(概要)

- ①11月~12月：入学説明会
- ②1月：面談
- ③2月~3月：体験入学
- ④3月末まで：入学決定

<問合せ>

大牟田市教育委員会学校教育課

〒：836-8666 住所：大牟田市有明町2-3

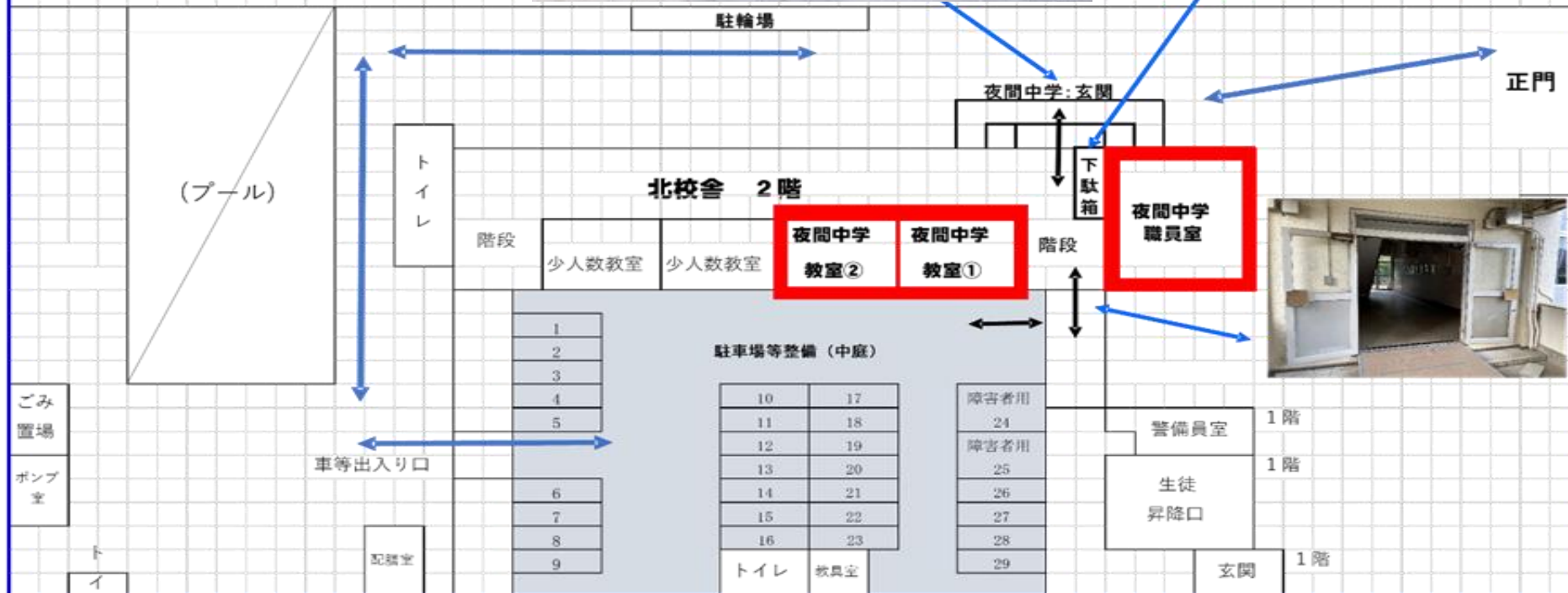
TEL：0944-41-2863 FAX：0944-41-2862

大牟田市立宅峰中学校ほしぞら分校の場所



ほしぞら分校 配置図

ほしぞら分校 配置図 (玄関・松原中北校舎2階)



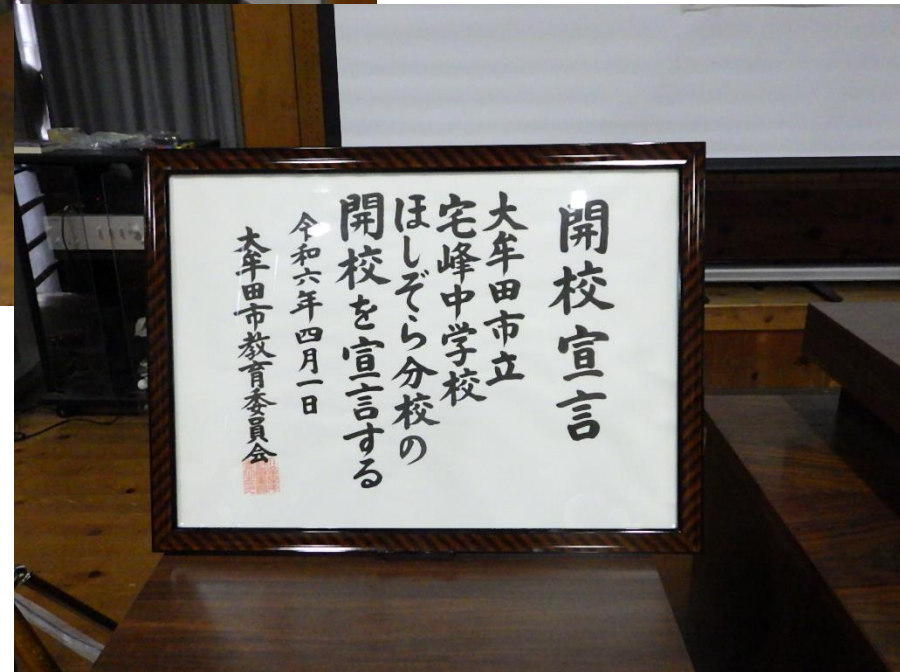
《開校式次第》

-
- 1 開式のことば
 - 2 国歌斉唱
 - 3 開校宣言
 - 4 教育委員会式辞
 - 5 市長あいさつ
 - 6 来賓紹介
 - 7 来賓あいさつ
 - 8 閉式のことば

令和6年4月27日(土)
宅峰中学校



《開校式》



《入学式》

- 1 開式のことば
 - 2 学校長式辞
 - 3 新入生代表のことば
 - 4 ほしぞら分校 職員紹介
 - 5 閉式のことば
- ◆ 在校生お祝い（校歌紹介）



令和6年4月27日（土）
宅峰中学校



《入学式》

生徒数：12名
職員数：14名





新入生代表のこぼ

ご来賓の皆様、おはようございます。

宅峰中学校ほしぞら分校入学生の田中龍介と申します。

本日はご多忙中にもかかわらず、私たちの入学式にご来席いただき、誠にありがとうございます。

入学生の代表として、ご挨拶申し上げます。

私たちはほしぞら分校入学生12人は、「この日」、「その時」を迎えるのを、ずっと、ずっと待っていました。

「この日」と「その時」と申し上げたのは、二つの意味があります。

「この日」とは、今日、大勢の皆様と一緒に入学式を迎え、お祝いをいただいた事、そして、「その時」とは、中学生の生徒となったことです。

私たちは、何らかの事情により、義務教育の中学校に行くことができなかった方、または病気や不登校など、行きたくても行けなかった方など、私を含め中学校の教育を十分に受けられなかった方です。

それぞれ年齢や事情の違い、ほしぞら分校の学校名の通り、授業は夜の時間帯に受けますが、違いはそれだけで、私たちは真正正認、公立中学校の生徒です。

これから、同じクラスメート、仲間として、授業や勉強、学校行事など先生方のご指導やご支援の元、学校生活が始まります。

今まで出来なかった中学生として勉強が出来る、またはやり直しが出来るのです。

しかも「我が町 大牟田」です。

長年待っていたことが、この大牟田で実現できたのです。

これはとても喜ばしく、すてきな事です。

どうか皆様、私たちほしぞら分校生徒をどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

そしてご指導、ご支援いただく先生方を始め、ご家族の皆様、保護者の皆様、地域の皆様、そのほか応援していただく大勢の皆様、よろしくお願ひ申し上げます。

皆様に感謝の気持ちを込めまして、入学生のご挨拶といたします。

令和6年4月27日 大牟田市立宅峰中学校ほしぞら分校

入学生代表 田中 龍介

《オリエンテーション》





《授業の様子》



《ほしぞら分校HPより》

24-009 教科の学習が本格的にスタートしました！

2024-05-10 19:55:03

英語科の学習で、身の回りにある英語をきっかけに、アルファベットの学習をしました。

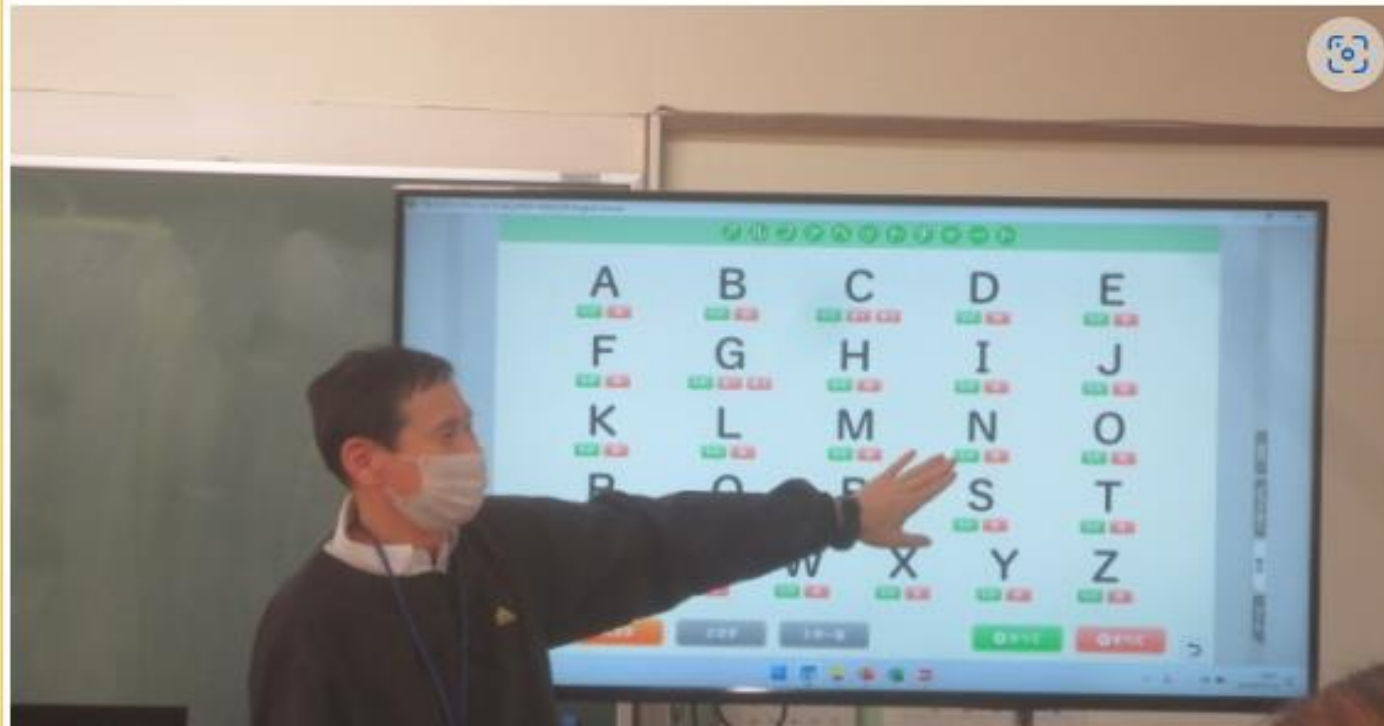
社会科の学習では、これから学習していく内容をオリエンテーションを兼ねて説明しました。また、地図帳の使い方も学習しました。

算数科では、レディネステストを行い、一人一人に合わせた学習を考えました。

外国にルーツを持つ生徒については、日本語指導も行っています。

どの教科も一人一人に合わせた支援を行うため、教師が試行錯誤を繰り返しながら、授業の準備を行っています。

画像をクリックすると拡大表示されます



《時間割例》

時間割					
1年1組					
曜日	月	火	水	木	金
	ホームルーム				
1	がっかつ 学活	びじゅつ 美術	おんがく 音楽	えいご 英語	えいご 英語
	山北	今田	三宅	藤吉	藤吉
2	こくご 国語	りか 理科	えいご 英語	すうがく 数学	しゃかい 社会
	古賀直	山北	藤吉	北原	谷本
3	すうがく 数学	こくご 国語	しゃかい 社会	りか 理科	すうがく 数学
	北原	古賀直	谷本	山北	北原
4	ほたい 保体	テック・ホーム 技術・家庭	ドモク・ソウゴ 道徳/総合	こくご 国語	こくご 国語
	上村	坂本	山北	古賀直	古賀直
	ホームルーム				

時間割					
3年1組					
曜日	月	火	水	木	金
	ホームルーム				
1	がっかつ 学活	びじゅつ 美術	おんがく 音楽	えいご 英語	えいご 英語
	山北	今田	三宅	藤吉	藤吉
2	こくご 国語	りか 理科	えいご 英語	すうがく 数学	しゃかい 社会
	古賀直	山北	藤吉	北原	谷本
3	すうがく 数学	こくご 国語	しゃかい 社会	りか 理科	すうがく 数学
	北原	古賀直	谷本	山北	北原
4	ほたい 保体	テック・ホーム 技術・家庭	ドモク・ソウゴ 道徳/総合	しゃかい 社会	りか 理科
	上村	坂本	山北	谷本	山北
	ホームルーム				

《時間割例》

時間割					
日本語					
曜日	月	火	水	木	金
	ホームルーム				
1	がっかつ 学活	びじゅつ 美術	おんがく 音楽	えいご 英語	えいご 英語
	山北	今田	三宅	藤吉	藤吉
2	にほんご 日本語	にほんご 日本語	にほんご 日本語	にほんご 日本語	にほんご 日本語
3	にほんご 日本語	にほんご 日本語	にほんご 日本語	にほんご 日本語	にほんご 日本語
4	ほたい 保体	ぎゆつ かてい 技術・家庭	どうとく けいご 道徳/総合	にほんご 日本語	1年国語 3年理科
	上村	坂本	山北		古賀直・山北
	ホームルーム				

曜日	月					
	HR	1	2	3	4	HR
古賀直 (国語)		学活	1 3 国	***		
北原 (数学)		学活	1 3 TT	1 3 数		
谷本 (社会)		学活		1 3 TT		
山北 (理科)		学活	***		1 3 TT	
藤吉 (英語)		学活	***	***		
坂本 (家庭)		学活		***	1 3 TT	
(技術)						
上村 (保体)		学活	***		1 3 保	
三宅 (音楽)						
今田 (美術)						

令和6年2月

文部科学省から「学びの多様化学校」の指定

■学齡生徒の受け入れ

- ・個別に面談
- ・体験入学
- ・保護者、学校と協議
- ・入学

※学齡生徒を対象とした令和7年度入学説明会を令和6年8月19日(月)に実施。
7名参加。

本日の発表内容

人が育ち、人でにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



- 1 大牟田市学校教育振興プラン
- 2 不登校児童生徒の現状
- 3 大牟田市における不登校対策
 - (1) ハートフルスクールプロジェクト
 - (2) スクールソーシャルワーカーの配置
 - (3) 学びの多様化学校
- 4 取組の成果と課題



大牟田市公式キャラクター
「ジャール坊」

取組の成果と課題

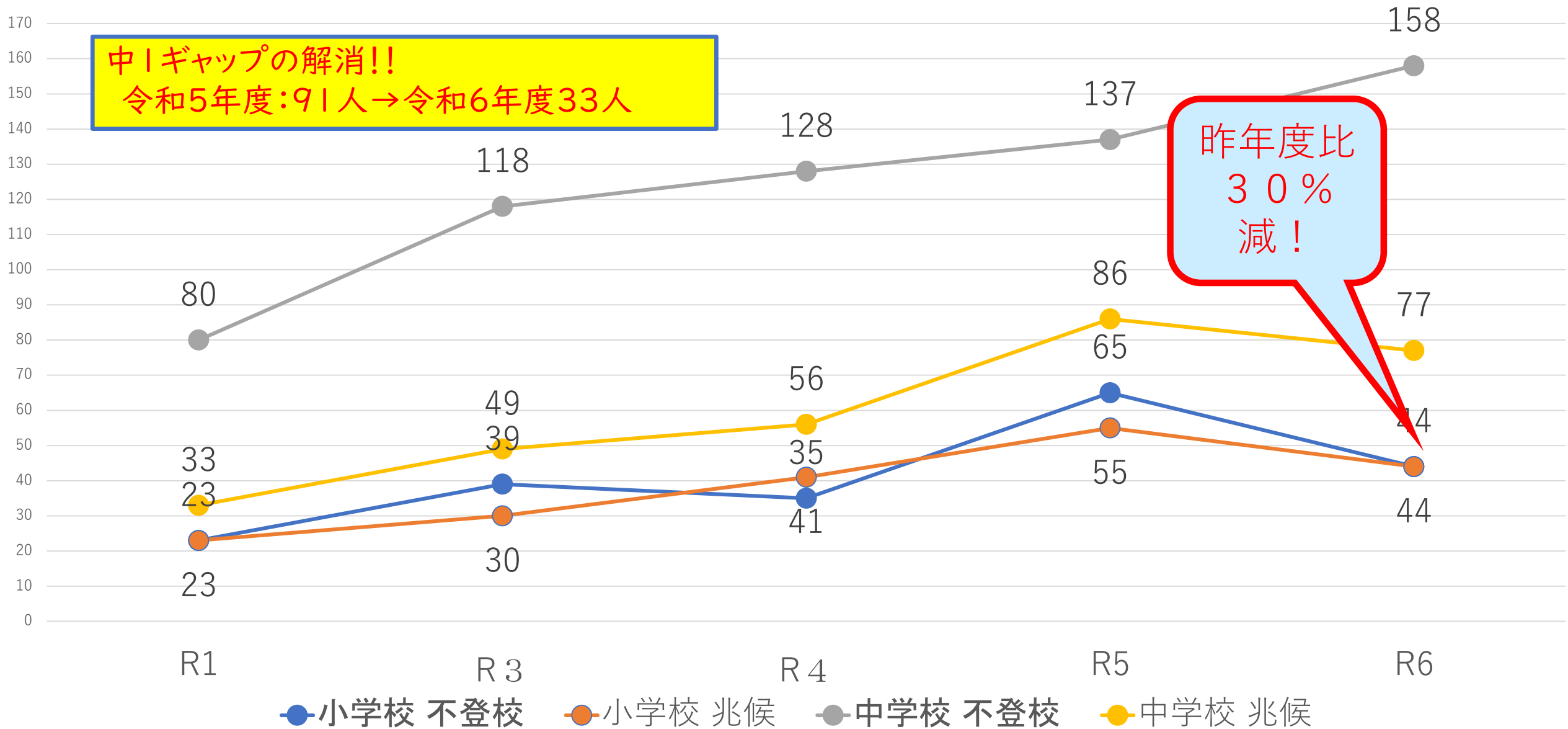
～みんなで一歩・未来への航路～

人が育ち、人でのぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田

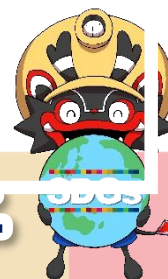


年度別不登校児童生徒数の推移（1学期段階）





- 1 不登校をうまない魅力的な学校づくり
- 2 社会総がかりでの支援体制の構築
 - ・専門機関とのさらなる連携の強化
 - ・CSの導入をふまえた学校を支援する人材の育成
 - ・「不登校」に対する意識改革と周知
- 3 不登校児童生徒と保護者を支える社会づくり



不登校をうまない魅力的な学校づくり

人が育ち、人のにぎわい、人を大切にするまち

SDGs 未来都市 大牟田



共同エージェンシー

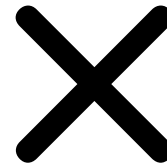
ウェルビーイング



仲間

教師

家族



今後の方向性



コンパス：羅針盤

未知なる環境の中を自力で歩み進める姿勢の比喻

エージェンシー：行為主体

変化を起こすために自力で目標を設定し振り返り、責任を持って行動する能力

ウェルビーイング：心身共に健康で充足した状態
社会的ウェルビーイングという概念は、これまでの経済的豊かさよりも多くの意味を含むもので共通の目的地

誰ひとり
取り
残さない
教育



担任教師を中心とした学校スタッフ
対話を重視したサポート
社会総がかりでの支援
「行きたい学校」「帰りたい家庭」
「出かけたい地域」

サポーター
supporter

不登校をうまない魅力的な学校
「つながり」と「かかわり」
「不登校」に対する見方の啓発

ハート
Heart

校内教育支援センター
サテライトスペース
スクールソーシャルワーカー
教育支援センター
ICTの活用 フリースクール ...

システム
system



これから



教育委員会・行政

「対話」を重視した

- アイディア
- アクション
- アプローチ



地域



民間

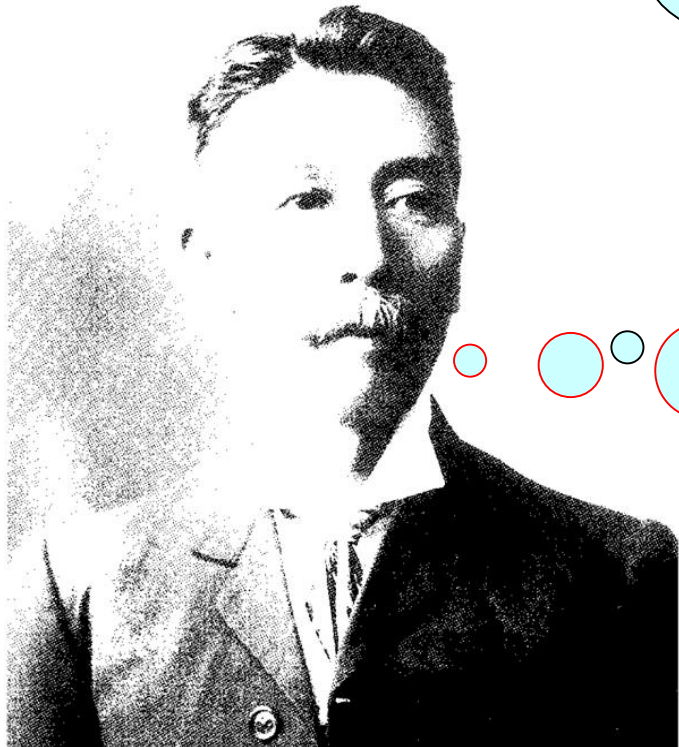
今後の方向性





石炭は永遠のものではない。
港を築いておけば、まちや国を
おこすこともできる。
百年の基礎になる。

持続可能な社会の創り手となる
子どもたちを育てておけば、
まちや国をおこすこともできる。
百年の基礎になる。





ご清聴ありがとうございました

A sunset scene over a body of water. The sun is low on the horizon, creating a bright orange and yellow glow that reflects on the water. In the background, there are silhouettes of industrial structures, including a tall tower and several cranes. The sky transitions from a deep blue at the top to a bright orange near the horizon.

ウェルビーイングの実現をめざして…
未来への航路